

令和7年度 夏休み親子生活教室の様子

令和7年8月5日(火)、6日(水)、7日(木)の3日間にわたり、県内在住の小学生とその保護者を対象に、今年も夏休み親子生活教室を開催しました。

この教室は、幼いころから金銭や商品に関心や興味を持っていただく消費者教育・啓発活動のため、社会貢献活動の一環として消費者への教室を開催している企業のご協力を得て、茨城県消費生活センターが開催したものです。

8月5日(火) 消費生活教室 「お金は大切に使おう」
科学教室 “おなか元気で”よい生活リズムを学ぼう
【協力 水戸ヤクルト販売株式会社】



消費生活教室は、映像の視聴や消費者教育啓発員の講話を通して、お金のはたらきや効果的な使い方を考えました。オンラインゲームで子どもが無断課金してしまった話など、全国的に相談の多い事例にもふれました。

また、今回の講話をきっかけに、消費生活センターに相談できる電話番号「188(イヤヤ)」を覚えた方も多いのではないのでしょうか。

休憩を挟んだあとの科学教室は、水戸ヤクルト販売株式会社の講師を迎え、「早ね・早起き・朝ごはん・朝うんち」を合言葉に、ふだんなかなか意識しない体の中の仕組みについて、映像や体の模型を使って体験しながら学びました。

小腸や大腸の長さはどのくらいか、健康的なうんちはどんな形かなどのクイズもあり、小学生も積極的に参加していました。また、講師から腸内環境の整え方や毎日を元気に過ごすコツを聞き、メモを取るなどしていました。

8組18人が参加し、親子でお小遣いや生活リズムについて話し合うよい機会になりました。

8月6日(木) 消費生活教室 「お金は大切に使おう」

科学教室 “ハンティファン・プロペラカーで”電流のはたらきを学ぼう

【協力 一般財団法人 関東電気保安協会茨城事業本部】

* ----- * 午前の部 * ----- *



★ ----- ★ 午後の部 ★ ----- ★



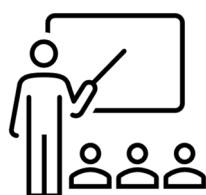
8月6日は午前の部、午後の部と2回教室を開催し、あわせて27組66人が参加しました。

まず、関東電気保安協会の講師から、コンセントの正しい使い方やトラッキング現象を予防するために掃除が必要なことなど、電気との安全な使い方を映像を交えて学びました。

そのあとハンディファンを組み立てる作業にうつりました。キットを楽しみにしていた参加者はさっそく工作に取りかかり、講師の助言も得ながら電池の回路をつなぐ工夫をしていました。

学校で直列つなぎや並列つなぎを習った参加者は学びなおしの機会に、まだ習っていない参加者には電気に興味を持つきっかけとなりました。

上手に工作をした後はプロペラを高く飛ばしたり、プロペラカーにして走らせたり、参加者の笑顔や歓声であふれました。作成したキットは自宅での学習にも役立つことでしょう。



8月7日(木) 消費生活教室 「お金は大切に使おう」
科学教室 “お菓子で”食品表示やおやつの食べ方を学ぼう
【協力 カルビー株式会社コーポレートコミュニケーション本部】



7日はカルビー株式会社から講師を迎えて、身近なおやつについて学びました。

おやつは3回の食事だけでは不足するエネルギーを補うこと、おやつは3時でなくてもいい話など、参加者は映像を見ながら真剣に学んでいました。

クイズでは、おやつの塩分量や、ふだん食べている野菜は植物のどの部分か？など難問もあり、親子で協力して問題を解いたり、正解にガッツポーズをしたり、大人でも難しい意外な答えを聞いて、「知らなかった！」と元気な声をあげている姿が見られました。

お菓子を通してカロリーや成分表示を知る方法など、19組39人の親子が楽しい時間を過ごしました。



このページに関するお問い合わせ

県民生活環境部消費生活センター 茨城県水戸市柵町1丁目3番1号

TEL 029-224-4722 FAX 029-226-9156